



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 バルテス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4442 URL <https://www.valtes-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 真史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 西村 祐一 TEL 06 (6534) 6570
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,065	21.5	333	△29.7	336	△29.8	200	△35.2
2023年3月期第2四半期	4,169	38.7	474	904.3	479	885.7	308	731.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 198百万円 (△35.6%) 2023年3月期第2四半期 308百万円 (716.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	9.77	9.76
2023年3月期第2四半期	15.16	15.09

(注) 1. 2023年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,879	2,607	53.4
2023年3月期	4,089	2,406	58.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 2,605百万円 2023年3月期 2,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年3月期配当金 (予想) の内訳 創業20周年記念配当4円

3. 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期 (予想) の1株当たりの期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。当該株式分割を考慮しない場合の2024年3月期 (予想) の1株当たりの期末配当金は12円です。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,178	23.4	1,228	26.7	1,233	25.5	833	28.0	40.72

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2024年3月期（予想）における通期の1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記している株式分割を考慮した金額を記載しています。株式分割の影響を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は122円15銭です。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）株式会社シンフォー、バルテス株式会社

（注）詳細は、添付書類P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	21,450,000株	2023年3月期	21,450,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	978,306株	2023年3月期	975,438株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	20,472,733株	2023年3月期2Q	20,354,053株

（注）当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示しています。

（四半期決算説明会開催について）

当社は、2023年11月21日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症対策としての行動制限解除や、インバウンド需要の増加など、経済活動に持ち直しの動きが見られたものの、不安定な国際情勢の中、原材料価格の高止まりや円安を背景とした物価上昇など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界は、生産性の向上を目指して、リモートワーク、クラウド環境の導入、IoT、AI、5G、メタバースなどのデジタルトランスフォーメーション（DX）に関連するIT投資や、企業防衛のためのセキュリティ対策投資を積極化する企業が増加していることを背景に、市場の成長は堅調に継続するものと認識しております。

このような状況の下、当社グループの主力サービスであるソフトウェアテストサービスにおきましては、潜在市場規模が大きくまた参入障壁の高いエンタープライズ系（注1）領域の開拓への注力を継続し、売上規模と利益率の向上に努めております。一方で、顕在化するエンジニア不足に対しては、優秀なITエンジニアの積極採用、充実した社内研修メソッドによる未経験人材の早期戦力化、業界別ナレッジ蓄積による人材の高スキル化及び外部人材の有効活用、テスト自動化や管理ツールの活用といった施策の展開を行い、順調に受注案件を積み上げております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,065,981千円（前年同期比21.5%増）と堅調に推移しましたが、成長に向けた人材採用の積極的実施に伴う販管費の増加により営業利益は333,860千円（同29.7%減）、経常利益は336,585千円（同29.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は200,040千円（同35.2%減）となりました。

（注1）エンタープライズ系

企業の業務システムや情報システム、金融機関、病院、鉄道など大規模かつ社会基盤を支える情報システムなどに含まれ、それらの中心となる制御システムの総称

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①ソフトウェアテストサービス事業

当事業においては、金融機関向けを中心としたエンタープライズ系領域の売上高が堅調に推移した他、新規大型再構築案件の上流工程・PMO（注2）・QMO（注3）や、大型マイグレーション（注4）案件への参画も増加し、エンジニア1人当たり売上は過去最高となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は4,471,324千円（前年同期比18.1%増）と堅調に推移しました。一方で将来の成長へ向けた投資であるエンジニアの人材採用積極化に伴う採用費、入社時の案件にアサインしない期間の研修費用（新卒・未経験者は2カ月間、経験者は1カ月間）が増加したことなどにより、セグメント利益は371,644千円（同18.9%減）となりました。

（注2）PMO（Project Management Office）

組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う部門や構造システム

（注3）QMO（Quality Management Office）

組織内における個々の品質管理の支援を横断的に行う部門や構造システム

（注4）マイグレーション

ソフトウェアやシステム、データなどを別の環境に移動したり、新しい環境に切り替えたりすること

②Web／モバイルアプリ開発サービス事業

当事業においては、アプリ開発やセキュリティ・脆弱性診断に係る売上高が増加しました。加えて株式会社シンフォーを2023年4月より新規連結したことも売上高の拡大に貢献しております。その結果、外部顧客に対する売上高は578,323千円（前年同期比56.2%増）と伸長しました。一方で開発が一部遅延していることや、のれんの償却費の増加などにより、セグメント利益は24,649千円（同53.8%減）となりました。

③オフショアサービス事業

フィリピンでは新型コロナウイルス感染症対策としてのロックダウンによる影響はほぼ解消され、経済活動の正常化が進んでおります。その中で当事業においては、現地日系企業からの引き合いが増加したものの、既存案件の終了及び新規案件の立上げ遅延により、外部顧客に対する売上高は16,332千円（前年同期比14.4%増）、セグメント損失は15,950千円（前年同期は938千円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,235,734千円となり、前連結会計年度末に比べ341,630千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加269,278千円によるものであります。固定資産は1,643,712千円となり、前連結会計年度末に比べ448,716千円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加38,737千円、のれんの計上等による無形固定資産の増加394,330千円によるものであります。

この結果、総資産は4,879,447千円となり、前連結会計年度末に比べ790,346千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,637,218千円となり、前連結会計年度末に比べ11,711千円減少いたしました。これは主に買掛金の減少60,579千円によるものであります。固定負債は635,116千円となり、前連結会計年度末に比べ601,442千円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加601,531千円によるものであります。

この結果、負債合計は2,272,334千円となり、前連結会計年度末に比べ589,731千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,607,112千円となり、前連結会計年度末に比べ200,615千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益200,040千円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は53.4%（前連結会計年度末は58.9%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末より269,278千円増加し1,784,726千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は144,305千円（前年同期比55.2%減）となりました。これは主に売上債権及び契約資産の増加額15,145千円や法人税等の支払額263,838千円があった一方で、税金等調整前四半期純利益306,585千円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は547,676千円（前年同期比13.8%増）となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出460,586千円、有形固定資産の取得による支出75,933千円、無形固定資産の取得による支出31,018千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は671,158千円（前年同期は18,199千円の支出）となりました。これは主に長期借入れによる収入700,000千円、長期借入金の返済による支出26,644千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました当初予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,535,447	1,804,726
受取手形、売掛金及び契約資産	1,208,289	1,281,440
電子記録債権	7,003	—
その他	143,364	149,567
流動資産合計	2,894,104	3,235,734
固定資産		
有形固定資産	185,212	223,950
無形固定資産		
のれん	350,142	728,461
その他	101,333	117,345
無形固定資産合計	451,476	845,806
投資その他の資産		
繰延税金資産	178,743	182,975
その他	379,563	390,980
投資その他の資産合計	558,306	573,955
固定資産合計	1,194,995	1,643,712
資産合計	4,089,100	4,879,447
負債の部		
流動負債		
買掛金	310,107	249,527
短期借入金	115,000	115,000
1年内返済予定の長期借入金	21,948	93,773
未払金	556,967	554,010
未払法人税等	255,876	105,501
賞与引当金	175,550	200,851
その他	213,480	318,555
流動負債合計	1,648,930	1,637,218
固定負債		
長期借入金	32,799	634,330
退職給付に係る負債	72	42
その他	802	744
固定負債合計	33,673	635,116
負債合計	1,682,603	2,272,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	775,589	776,440
利益剰余金	1,719,472	1,919,512
自己株式	△177,373	△177,330
株主資本合計	2,407,687	2,608,622
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,191	△2,888
その他の包括利益累計額合計	△1,191	△2,888
新株予約権	—	1,378
純資産合計	2,406,496	2,607,112
負債純資産合計	4,089,100	4,879,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,169,257	5,065,981
売上原価	2,964,494	3,641,984
売上総利益	1,204,762	1,423,996
販売費及び一般管理費	730,191	1,090,135
営業利益	474,571	333,860
営業外収益		
受取利息	10	13
助成金収入	2,616	1,835
為替差益	2,948	3,614
その他	718	722
営業外収益合計	6,294	6,186
営業外費用		
支払利息	811	3,154
支払保証料	308	308
営業外費用合計	1,119	3,462
経常利益	479,746	336,585
特別損失		
固定資産除却損	1,092	—
投資有価証券評価損	—	30,000
特別損失合計	1,092	30,000
税金等調整前四半期純利益	478,654	306,585
法人税、住民税及び事業税	173,416	110,099
法人税等調整額	△3,353	△3,555
法人税等合計	170,062	106,544
四半期純利益	308,591	200,040
親会社株主に帰属する四半期純利益	308,591	200,040

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	308,591	200,040
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△534	△1,697
その他の包括利益合計	△534	△1,697
四半期包括利益	308,057	198,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	308,057	198,343
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	478,654	306,585
減価償却費	33,748	38,399
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	30,000
のれん償却額	17,832	42,485
固定資産除却損	1,092	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,272	13,679
受取利息及び受取配当金	△12	△14
支払利息	811	3,154
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△98,152	△15,145
仕入債務の増減額 (△は減少)	84,446	△66,239
未払金の増減額 (△は減少)	△12,615	△9,170
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△38,190	△42,488
その他	△24,132	105,555
小計	449,754	406,801
利息及び配当金の受取額	12	14
利息の支払額	△811	△3,154
法人税等の支払額	△126,655	△263,838
法人税等の還付額	—	4,481
営業活動によるキャッシュ・フロー	322,300	144,305
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,435	△75,933
無形固定資産の取得による支出	△6,424	△31,018
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△73,030	△1,389
保険積立金の解約による収入	—	21,494
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△296,295	△460,586
その他	10	△243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△481,175	△547,676
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,000	—
長期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△10,974	△26,644
自己株式の取得による支出	△67	△106
新株予約権の発行による収入	—	66
その他	△2,158	△2,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,199	671,158
現金及び現金同等物に係る換算差額	802	1,491
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△176,272	269,278
現金及び現金同等物の期首残高	1,336,533	1,515,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,160,261	1,784,726

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

第1四半期連結会計期間より、株式会社シンフォアの全株式を取得したため、及びバルテス株式会社（2023年10月1日付でバルテス分割準備株式会社より商号変更）を新規設立したため、当該2社を連結の範囲に含めております。なお、当該2社はいずれも当社の特定子会社に該当しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,784,777	370,207	14,272	4,169,257	—	4,169,257
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,518	106,008	25,068	138,596	△138,596	—
計	3,792,295	476,216	39,341	4,307,853	△138,596	4,169,257
セグメント利益	458,294	53,367	938	512,600	△38,028	474,571

（注）1. セグメント利益の調整額△38,028千円は、セグメント間未実現利益の調整額2,801千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△40,830千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,471,324	578,323	16,332	5,065,981	—	5,065,981
セグメント間の内部売 上高又は振替高	11,028	136,591	4,025	151,645	△151,645	—
計	4,482,353	714,914	20,358	5,217,626	△151,645	5,065,981
セグメント利益又は損失 (△)	371,644	24,649	△15,950	380,343	△46,482	333,860

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△46,482千円は、セグメント間未実現利益の調整額△9,048千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△37,434千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、株式会社シンフォーの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間末のWeb/モバイルアプリ開発サービスセグメントのセグメント資産が992,350千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社シンフォーの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、当第2四半期連結累計期間においてWeb/モバイルアプリ開発サービスセグメントののれんが397,426千円増加しております。

(重要な後発事象)

(会社分割による持株会社体制への移行)

当社は、2023年6月23日開催の当社第19期定時株主総会の承認可決により、2023年10月1日付で当社を分割会社、当社の100%子会社であるバルテス株式会社(2023年10月1日付でバルテス分割準備株式会社より商号変更)を承継会社とする吸収分割を実施し、持株会社体制へ移行いたしました。

また、同日付で当社の商号をバルテス・ホールディングス株式会社に変更しております。

1. 会社分割の概要

(1) 対象となった事業の内容

グループ経営管理事業(当社を上場会社である持株会社として運営するために必要な業務に係る事業を含む)、教育関連事業を除く一切の事業

(2) 企業結合日

2023年10月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を分割会社とし、当社の100%子会社であるバルテス株式会社を承継会社とする吸収分割

(4) 結合後企業の名称

分割会社: バルテス・ホールディングス株式会社

承継会社: バルテス株式会社

(5) 会社分割の目的

当社は、2004年の設立以来、ソフトウェアテストサービス事業をメインとした品質向上支援サービスを提供しております。「VALTES for Quality Confidence」をグループスローガンに掲げ、お客様の品質に対する自信を揺るぎないものとしたく、ソフトウェアテストを通じて、その価値を創造していくことを最大のミッションとしております。

今後、持続的な成長を実現するため、経営資源配分の最適化を推進する観点から、持株会社体制へ移行をいたしました。移行の目的は以下のとおりです。

(1) ソフトウェア品質向上の価値提供を行う事業の強化

主力事業であるソフトウェアテストサービス事業において、潜在市場規模が大きくまた参入障壁の高いエンタープライズ系領域の開拓への注力を継続する他、成長性・収益性の高い事業領域に積極的に挑戦してまいります。持株会社体制に移行することにより、M&Aや新規事業創出に戦略的かつ機動的に対応できる組織体制を構築し、グループ経営戦略機能の強化を図ります。

(2) グループガバナンスの強化

持株会社及び各事業会社の権限と責任を明確化し、管理機能を集中することにより、プライム市場上場を見据えた体制強化を図ります。

(3) 経営者人材の育成

事業会社における経営経験の機会を積極的に創出し、次世代グループ経営人材の育成を図ります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

（株式分割）

当社は、2023年7月24日開催の取締役会決議に基づき、2023年10月1日付で株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

株式を分割することにより、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を高めることで、投資家の皆様により投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

（1）分割の方法

2023年9月30日（土）（同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2023年9月29日（金））を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割致します。

（2）分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数 7,150,000 株

分割により増加する株式数 14,300,000 株

株式分割後の発行済株式総数 21,450,000 株

株式分割後の発行可能株式総数 85,800,000 株

（3）分割の日程

① 基準日公告日 2023年9月14日（木）

② 基準日 2023年9月30日（土）

③ 効力発生日 2023年10月1日（日）

（4）1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。

（取得による企業結合）

当社は、2023年9月22日開催の取締役会において、フェアネスコンサルティング株式会社の発行済株式の全株式を取得して子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2023年11月10日付で全株式を取得しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 フェアネスコンサルティング株式会社

事業の内容 コンサルティング事業、システムソリューション事業

(2) 企業結合を行う主な理由

高い技術力を背景に成長を続ける、SAPソリューションやインフラソリューションに強みを持つSES事業者である同社をグループインすることによって、双方の知見や強みを共有し深化させることで、当社グループの経営基盤の強化・拡充と更なる企業価値の向上を図ることが可能になると判断したため。

(3) 企業結合日

2023年11月10日（株式取得日）

2023年12月31日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得する議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が議決権の100%を獲得したためであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	216,000千円
取得原価		216,000千円

3. 主要な取引関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 32,000千円（概算額）

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。